

日本共産党はがんばります



# 米原市議選・山脇氏当選

## 米原市民報

日本共産党米原市議団  
清水隆徳Tel52-1969  
藤田正雄Tel55-1128  
太田幸代Tel54-2286

<http://www.jcp-maibarashigidan.com>

### 山脇13位・近藤20位・藤田23位

22日市会議員選挙が終わりました。衆議院選挙との同時選挙で、また台風21号が上陸するという最悪の状況で、しつかり執務をされた職員の皆様に敬意を表します。

◆22日投票開票された米原市議会議員選挙の結果、日本共産党は、山脇氏が当選を果たしましたが、現有3議席を確保できませんでした。投票率は68・35%（前回66・71%）、3氏合計の得票は2045票（前回2666票）、得票率は9・34%（前回12・48%）でした。

事務所に駆けつけた支援者の方々に、結果と今後の決意を報告し、その労をねぎらいました。また、翌日には、候補者自らが街頭に出て、市民のみなさんに対して、選挙の報告をおこないました。

### 公約実現へ

◆日本共産党は、今回の市議選で、現職の藤田正雄氏と、清水隆徳、太田幸代両氏からバトンタッチした山脇正孝氏、近藤康雄氏の両新人を擁立してたたかいました。選挙戦は、7人はみ出しの多数激戦となり、その6割近くが山東・伊吹地域に集中する厳しいたたかいとなりました。3候補は、総選挙と一体に安倍政権の退場を訴え、市議会での党議席の実績と値打ちを語る

◆日本共産党は、今回の選挙戦について、党内外からの意見をふまえてよく検討し、今後の活動に生かしていきます。また、市議選で

◆市民からは、「安倍は怖い。わたしは共産党の候補者に投票する」「ここには長年議員がいなかった。ぜひ議会に送りたい」「みなさんのおかげで学校にクーラーも入ったし、運動場もきれいになった」など、日本共産党への期待が広がるなか、3人の候補者の魅力と政策が日に日に市民に浸透しました。しかし、激戦を勝ち抜くには至りませんでした。

かかげた政策と、市民のみなさんの要求実現にむけ、全力をあげる決意です。総選挙の結果、日本共産党と立憲野党、そして国民・市民との共同したたたかいます。「憲法改悪を許さず、平和と市民のくらしを守りぬく」という、党がかかげた市議選のスローガンをまさに実現させる運動ととりくみははじまります。みなさんのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



### 近藤康夫

戦後の貧しさから3歳で母を亡くし、「戦争だけはぜったいあかん」との思いと、霊仙山の崩落対策や丹生川の改修に、地域のみなさんと取り組みたいとの思いで立候補しました。人生で初めての候補者経験のため、選挙では戸惑うことも多かったのですが、地域の方々や支持者の方々の温かい支援や励ましの言葉をいただき、一生懸命戦わせていただきました。結果は力不足であと一歩及びませんでした。これからも一市民として、安倍政権のねらう憲法改悪阻止のため、地域要求や暮らしの願い実現のため、微力を尽くしていきます。

山脇正孝  
この度の米原市議会選挙で、当選させていただきました。みなさまの応援やご支援が励みになり、最後までがんばりぬくことができました。本当にありがとうございました。残念なことには、米原市の共産党議席は、ひとつになつてしまいました。私の後方には、3人の候補者を支持していただいたたくさんの方々がおられます。さみしくはありません。公約実現のためにみなさま方のご意見・ご要望をしっかりと聞きながら、市民のくらしを守り、市議会と市政を改革していくために、全力をあげます。今後ともよろしくお願いいたします。

雑感  
選挙中で2週分米原市民報を発行することができませんでした。申し訳ありません。3人の任期は10月末で終了します。議員は山脇さんひとりになります。今後とも皆さんに読まれる民報を発行します。